中学歴史プリント（過去問類似）
古墳時代

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／10

問1 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。 （2024年 山口公立入試 類似）

1. 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている
2. 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている
3. 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した
4. 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った

問2 鳥取県内最大級の北山古墳が築造された400年頃（5世紀）の、日本と中国の関係について述べた記述として正しいものはどれですか。 （2017年 鳥取公立入試 類似）

1. 倭王たちが中国の王朝へ使節を送り、自らの地位を正式に認めさせることで、国内での権威や統治の正当性を高めようとした。
2. 邪馬台国の女王である卑弥呼が魏の皇帝に使節を送り、親魏倭王の称号とともに金印や銅鏡を授かった。
3. 小野妹子が遣隋使として中国へ派遣され、中国の皇帝と対等な外交関係を結ぶことで、東アジアにおける独立性を保とうとした。
4. 平城京を中心とした律令政治が行き詰まったため、中国との公的な外交を断絶し、地方独自の勢力が古墳を築いた。

問3 大阪府堺市に位置し、三重の堀に囲まれた巨大な鍵穴のような形状を持つ、日本最大級の面積を誇る古墳の名称として正しいものを選びなさい。 （2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 大仙（大仙陵）古墳　**2.** 稲荷山古墳　**3.** 江田船山古墳　**4.** 高松塚古墳

問4 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次の中から選びなさい。 （2019年 岡山公立入試 類似）

1. 漢字　**2.** ひらがな　**3.** カタカナ　**4.** ローマ字

問5 5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。 （2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 鉄　**2.** 銅　**3.** 青銅　**4.** 金

問6 古墳時代の大和政権において、朝鮮半島や中国から渡来した人々（渡来人）が果たした役割や、彼らがもたらした文化的な影響について述べた文として正しいものはどれですか。 （2024年 群馬公立入試 類似）

1. 大和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた
2. 稲作を初めて日本に伝え、各地に高床倉庫を持つ集落を形成させた
3. 銅鐸や銅剣などの青銅器を用いた祭祀を広め、巨大な前方後円墳を築いた
4. 狩猟や採集に代わる新しい生活様式として、磨製石器の製作技術を広めた

問7 5世紀後半のヤマト王権の勢力範囲を知る手がかりとして、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌の銘文を持つ鉄刀があります。この鉄刀に記されている、当時の王権の中心人物を指す名称として正しいものはどれですか。 （2022年 福島県公立入試 類似）

1. ワカタケル大王　**2.** 志賀島の金印の主　**3.** 卑弥呼　**4.** 聖徳太子

問8 埼玉県の稲荷山古墳から出土した、表面に「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」という文字が金色の象嵌で刻まれた遺物について、その名称として正しいものを選んでください。 （2021年 大阪公立入試 類似）

1. 鉄剣　**2.** 銅鏡　**3.** 埴輪　**4.** 金印

問9 古墳時代、朝鮮半島から日本列島に移り住んだ人々によって、新たな土器の製作技術が伝えられました。専用の窯（かま）を用いて高温で焼成されることで、それまでの土器に比べて非常に硬く、色が灰色をしていることが特徴の土器を何と呼びますか。 （2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 縄文土器　**2.** 弥生土器　**3.** 須恵器　**4.** 土師器

問10 5世紀のヤマト王権の王たちが中国の皇帝に使節を送り、国内の支配権を認めさせていた時期の文化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 三重公立入試 類似）

1. 古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。
2. 魔除けや安産を願う呪術的な道具として、土偶が盛んに作られて集落の近くに置かれた。
3. 仏教の伝来にともない、大規模な寺院の建立とともに数多くの仏像が安置された。
4. 稲作の豊作を祈るための祭礼の道具として、青銅で作られた銅鐸が用いられた。

答え合わせ・解説

問1	**答え 1** **中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている**	5世紀、ヤマト王権は当時の中国の南朝（宋など）へ朝貢を行っていました。中国の歴史書には、讃・珍・済・興・武という5人の王が記録されており、彼らが軍事的な称号や政治的地位を求めていたことが記されています。他の選択肢は、3世紀の邪馬台国、7世紀の遣隋使、あるいは7世紀以降の遣唐使に関する内容であり、時代背景が異なります。
問2	**答え 1** **倭王たちが中国の王朝へ使節を送り、自らの地位を正式に認めさせることで、国内での権威や統治の正当性を高めようとした。**	4世紀から5世紀にかけて、日本各地で大規模な前方後円墳が築造された時期は、近畿地方を中心とする大王（王権）が勢力を広げていた時期に重なります。この頃の倭王は、中国の王朝に貢ぎ物を届けて「倭王」としての称号を得ることで、その強大な権力を国内外に示しました。これは1世紀に奴国の王が金印を授かった頃に比べ、より広域で組織的な統治が始まっていたことを示しています。
問3	**答え 1** **大仙（大仙陵）古墳**	堺市にあるこの古墳は、仁徳天皇の墓とも伝えられている日本最大の前方後円墳です。三重の堀に囲まれたその巨大な規模は、当時の大王（おおきみ）が持っていた強大な権力を物語っています。
問4	**答え 1** **漢字**	古墳時代に大陸の進んだ技術や文化を持った人々（渡来人）が日本列島へ移住した際、儒教や仏教とともに伝えられたのが漢字です。これにより、それまで文字を持たなかった日本において、出来事の記録や政治的な文書の作成が可能となりました。ひらがなやカタカナは、後にこの漢字を崩したり、一部を取ったりすることで日本独自の文字として発展したものです。
問5	**答え 1** **鉄**	大和政権は、朝鮮半島の南部に位置する伽耶（加羅）地域から鉄資源を安定的に確保し、それを用いて高度な武器や鎧を製造しました。当時の古墳から出土する武人の埴輪が鎧をまとっていることからも、この金属が軍事力の象徴であったことがわかります。これにより、政権は軍事的な優位を築きました。
問6	**答え 1** **大和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた**	朝鮮半島や中国から日本に移り住んだ渡来人は、当時の先進的な知識を持っていたため、大和政権において外交文書の作成や財政の記録・管理といった重要な実務を担いました。彼らを通じて、6世紀の百済からの仏教伝来に代表されるような、大陸の新しい学問、宗教、技術が日本に定着し、国家の仕組みが整えられていきました。
問7	**答え 1** **ワカタケル大王**	江田船山古墳から出土した鉄刀に刻まれた「ワカタケル大王」は、中国の歴史書に記された「倭王武」や、日本の『記紀』に登場する雄略天皇にあたると考えられています。この名称が刻まれた遺物が、九州（江田船山古墳）と関東（稲荷山古墳）の両方から発見されたことは、広域な支配体制の確立を裏付ける歴史的な発見となりました。
問8	**答え 1** **鉄剣**	稲荷山古墳から出土したこの鉄剣には、115文字に及ぶ漢字が刻まれており、当時の政治状況や文字の使用状況を知る一級の史料となっています。刻まれた「獲加多支鹵大王」は、日本書紀や古事記に登場する雄略天皇を指すと考えられています。
問9	**答え 3** **須恵器**	古墳時代、朝鮮半島から移住した渡来人によって、穴窯（あながま）を用いた最新の作陶技術がもたらされました。従来の土師器（はじき）が野焼きで焼かれる赤褐色の土器であったのに対し、須恵器は1000度以上の高温で焼成されるため、実用性が高い硬質な土器として普及しました。
問10	**答え 1** **古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。**	5世紀は「倭の五王」が中国の南朝へ使いを送り、政治的な地位を確立しようとした時代です。この時期の古墳には、円筒埴輪だけでなく、家、武器、人物などをかたどった形象埴輪が並べられ、葬られた者の権威や儀式の様子を示す役割を果たしていました。土偶は縄文時代、銅鐸は弥生時代、寺院建立は飛鳥時代以降の特徴であるため、混同に注意が必要です。